

家族でニコニコチャレンジ① 取り組みの様子



平成24年6月～7月実施

基本的な生活習慣の確立と自立心の育成をめざして！

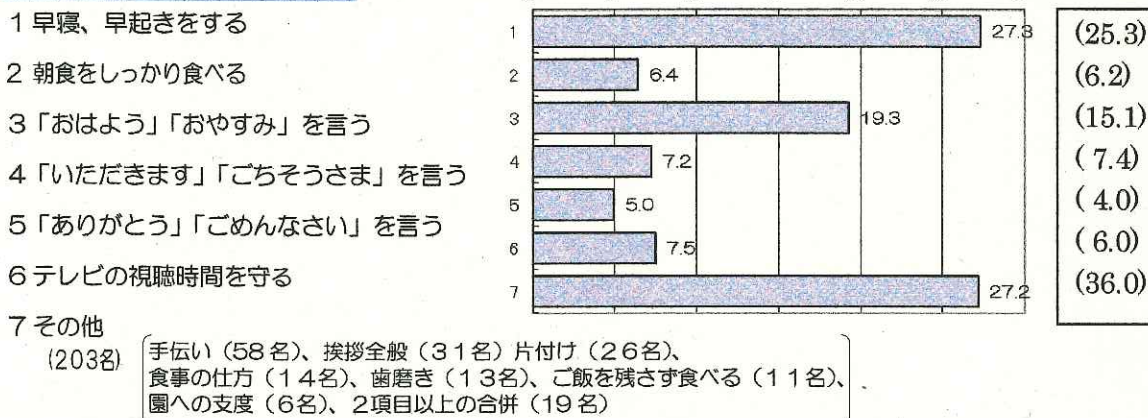
「家族でニコニコチャレンジ」第1回目の取り組みに関して、ご報告いただきました。今回は子どもと一緒に目標を決めることで、はりきって取り組んだ子ども達がたくさんいました。目標に向かう姿勢やこれからも続けていきたいという気持ちがうかがわれました。基本的な生活習慣の確立と自立心の育成に向けて、保護者の意識を高めるための働きかけの材料として、今回の取り組みをいかしていただきたいと考えています。

<取り組み状況>

集計協力園 45園 / 45園

回収率…94.9% (報告園の提出者数 / 報告園での配布者数)

取り組み項目の選択状況



保護者からの感想等

<<子どもの様子に関わる感想>>

①チャレンジをきっかけに、親も子どもより早寝早起きを意識するようになり、とてもよい機会となりました。今後も、就学に向けて続けたい。

③一緒にあいさつすることで、会話も増え、楽しい食事の時間が朝もできてよかったです。これからも意識して続けていこうと思います。

⑤ふだんからあいさつはきちんとしているが、取り組み期間の2週間は元気よくできていた。これからはできるときは内容を変えて取り組んでみたい。

⑧ありがとう、ごめんなさいは大人になっても使う言葉なので、これから続けてほしいです。

⑩テレビを見ない時間に本を見たり、外で体を動かす機会が増えた。

②帰宅し、空のお弁当箱を渡してくれる際に「ごちそう様でした」と言ってくれるのがとてもうれしかったです。

④早寝早起きのチャレンジが多く就学に向け生活時間を意識していると感じた。

⑥TVを消していると子どもたちの想像力の豊かさを感じました。TVは最小限でいいなあと思いました。

⑦なかなか素直に「ごめんなさい」が言えません。「ごめんなさい」大切さをもう少し理解すると素直に言えるのかな。

⑨寝る時間が遅く、短いので、朝起きるのがつらくて朝食を食べない日もありました。

《家族の関わり方に関する感想》

① 親子で一緒に目標を立て、頑張れたので良かったです。

③ チャレンジをきっかけに、親も子もより早寝早起きを意識するようになり、とてもよい機会となりました。今後も、就学に向けて続けたい。

⑤ いかにテレビに子育てをさせていたのかと感じた。テレビの時間を決めることで子どものかかわりが増えた。

② 親も一呼吸おいて声をかけるなどいつもより見守りの姿勢で取り組みました。本人も目標を意識して、意欲的に取り組んでいました。

④ ニコニコチャレンジを励みに元気に挨拶し家族みんなも挨拶するようになった。

園からの感想等

《親子で取り組むことの効果に関わる感想》

① 生活習慣が確立する時期なので、家族での取り組みができてよかった。

② 母親の思いだけで立てた目標では、子どもの意欲もわかずに残念マークだけで終わった子があった。目標は一緒に見出し親の声掛けの仕方やタイミングをアドバイスしながら再チャレンジをした。その甲斐あって、2回目は成果のある取り組みとなった。

⑤ 前半は家族の声掛けで始まったが、後半は自分で目標に向かって頑張ることができた。2週間過ぎても続けている。

③ 目標が割と簡単であったり曖昧であったりする保護者がほとんどであったため、こちら（園）から目標を設定しても良かったのかなと感じました。

④ 自分で決めたことを守ろうとする自主的な姿勢が見られてきたことと、わが子の取り組む姿を見て成長していると実感した保護者の思いが伝わってきた。ニコニコチャレンジに取り組む前に「一緒にやろうできる事」（CO2削減ノーゲーム・ノーテレビ）もあり、親子で意識を持ち家庭での生活を見直そうとする様子が見られた。

《第2回の取り組みに向けて、園から家庭への働きかけの計画》 …回答のあった41園の記述より

- ◇ 学校便り・クラス便りに取組状況を掲載して、働きかける。（25園）
- ◇ 懇談会等で話題にして、働きかける。（12園）
- ◇ 子どもたちに話し合いや声掛けなどにより働きかける（4園）
- ◇ 取り組みカードを掲示して、昨年度と比較しながら意欲付けを図る。（1園）
- ◇ 基本的な生活習慣が身につけられるように、家庭に合わせた声掛けをしていく（2園）

今回の取り組み結果と次回の取り組みに向けて

☆ 今回の取り組み結果 …各園の報告から… ☆

- 取り組み候補項目から目標を設定する家庭が増え、基本的な生活習慣の確立を再認識しつつある傾向にある。その他の項目では、手伝いや挨拶など人との関わりを目標にする家庭が多かった。
- 保護者からは、親子で目標設定をしたり、一緒に取り組んだりすることで子どもの良さやこれからの課題に気づいたという感想が多かった。
- 園では、園便りやクラス便り、懇談会などで一斉に啓発するだけでなく、各家庭にあった言い方、子ども自身に考えさせる取り組み方、普段から意識的に声掛けすることなど、家庭の教育力を向上させるために工夫して取り組んでいる。感想では、ニコニコチャレンジ期間が終了しても取り組みを続けることで習慣化してほしいということがあげられていた。

☆ 次回の取り組みに向けて ☆

- 基本的な生活習慣の必要性の確認、保護者の感想など、広報や事例集などでニコニコチャレンジの取り組み結果を周知する。
- 接続期のカリキュラムとの整合性を考慮し、取り組み候補項目の提示の方法を工夫する。
- 園での取り組みの工夫を提示することで、園から家庭への働きかけを促す。